

2 歯科医師

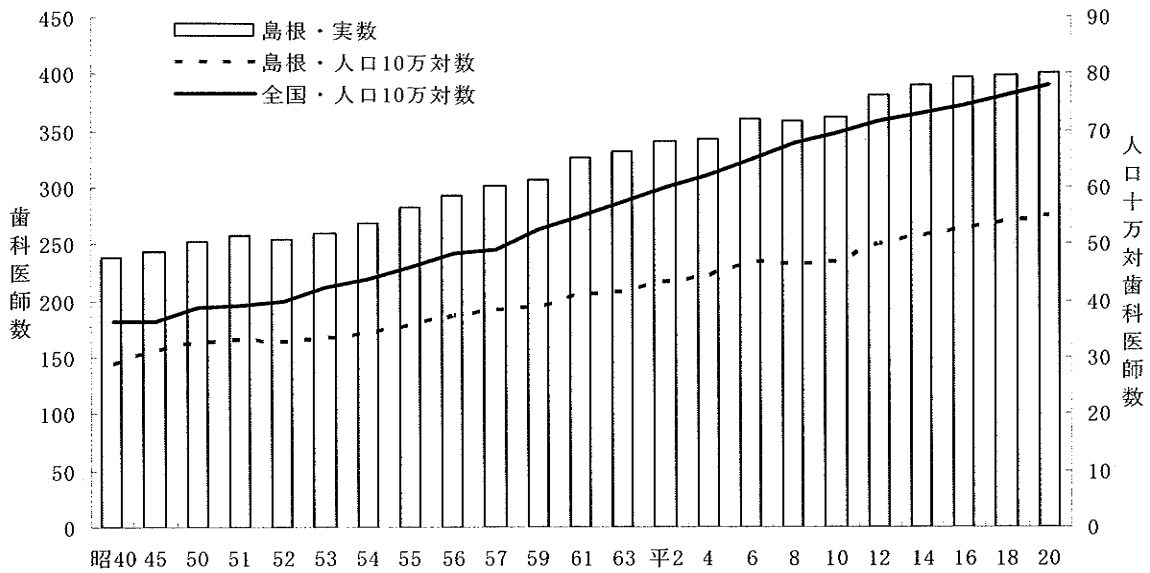
平成20年末現在の届出歯科医師数は400人で、前回調査時の平成18年から2人増加した。業務の種類別にみると、ほとんどが医療施設の従事者で97.3%を占める。うち診療所の開設者又は法人の代表者が64.3%で、診療所の勤務者が23.0%である。平成18年と比べると、病院の従事者は5人増加（構成割合は1.2上昇）、診療所の従事者は2人増加（構成割合は0.1%上昇）した（表3）。

表3 業務の種類別にみた歯科医師数及び構成割合

	歯科医師数		増減数 (人)	構成割合(%)	
	平成20年	平成18年		平成20年	平成18年
総 数	400	398	2	100.0	100.0
医療施設の従事者	389	382	7	97.3	96.0
病院の従事者	40	35	5	10.0	8.8
病院（医育機関附属の病院を除く）の開設者 又は法人の代表者	-	-	-	-	-
病院（医育機関附属の病院を除く）の勤務者	22	18	4	5.5	4.5
医育機関附属の病院の勤務者	18	17	1	4.5	4.3
臨床系の教官又は教員	5	5	-	1.3	1.3
臨床系の教官又は教員以外の従事者	13	12	1	3.3	3.0
診療所の従事者	349	347	2	87.3	87.2
診療所の開設者又は法人の代表者	257	258	△1	64.3	64.8
診療所の勤務者	92	89	3	23.0	22.4
老人保健施設の従事者	-	-	-	-	-
医療施設・老人保健施設以外の従事者	4	3	1	1.0	0.8
医育機関の臨床系以外の勤務者または大学院生	1	1	-	0.3	0.3
医育機関以外の教育機関又は研究機関の勤務者	-	-	-	-	-
行政機関又は保健衛生施設の従事者	3	2	1	0.8	0.5
行政機関の従事者	2	2	-	0.5	0.5
行政機関を除く保健衛生施設の従事者	1	-	1	0.3	-
その他の者	7	13	△6	1.8	3.3
その他の業務の従事者	-	2	△2	-	0.5
無職の者	7	11	△4	1.8	2.8
不 詳	-	-	-	-	-

平成20年の人口10万対歯科医師数は55.2人で平成18年の54.0人に比べて1.2人増加した。年次推移をみると、緩やかな増加傾向にあるものの、全国平均に比べてかなり低くなっており、平成20年は全都道府県中第45位であった（図4）。

図4 歯科医師数及び人口10万対歯科医師数の年次推移



歯科医師の年齢別割合をみると、全国に比べて20歳～40歳代の占める割合が低く、50歳代以上の占める割合が高くなっている。男女別に比べると、女性の方が20歳～30歳代の占める割合が高く、男性の方が40歳～60歳代の占める割合が高い。

2次医療圏別にみると、出雲圏が他の医療圏に比べて49歳以下の割合が高く、半数以上の58.8%を占める。50歳以上の割合が最も高いのは大田圏で71.4%を占める(図5)。

図5 歯科医師の年齢別割合

